

第3回わたしの学校自慢 「学生にとって心理的安全性のある実習環境の調整」

カテゴリー④ 連携:設置病院(大津赤十字病院)との連携した学生支援



1. 学校概要

学校名:大津赤十字看護専門学校

所在地:滋賀県大津市小関町 5-23 課程名:3年課程

1学年定員数:40名 修業年限:3年



2. 内容:設置病院である「大津赤十字病院看護部 実習指導部会(以下、部会という)」との連携を報告します

1) 実習指導者研修・指導者会議の共同企画・運営

連携の目的:心理的安全性のある実習環境の調整ができる

本校の実習指導目標:学生の個別的・段階的指導目標に基づいた支援ができる

病院の部会目標:実習指導者の役割を理解し、意図的な実習指導を実施できる

連携の目的に基づき、学校と病院が実習指導目標を立案し取り組んでいます

4月:大津赤十字病院 実習指導者部会と連携会議「年間の実習指導者研修・指導者会議企画検討」

5月～ 年間計画に基づき研修・会議運営 部会と学校との連携会議は定期的実施

【2024年度の企画内容の一例を紹介】

* 1年次実習(基礎看護学実習I)について具体的指導方法の検討(教員・実習指導者でグループワーク)

* 合理的配慮を必要とする臨地実習の勉強会

* 実習指導者の学生指導場面リフレクション(教員・実習指導者でグループワーク)

実習指導者の声

「教員と検討できることで目標を意識した具体的指導方法がイメージできる」

「個別的な支援の必要性がわかった」

「指導者1年目として自分自身の成長につながる」



教員の声

「実習指導者の考え、困り事、知りたい情報などの理解につながり連携に必要な指導案作成ができた」

2) 大津赤十字看護専門学校3年次「卒業前演習」(2月実施)

・3年次学生の基礎看護技術の臨地経験、修得状況と大津赤十字病院の新人看護師の状況を意見交換し、課題となっていることを踏まえて卒業前演習企画

【2023年度の卒業前演習内容の一例を紹介】

*大津赤十字病院看護部 副部長 講演「看護専門職としての自分の育て方」 Q&A コーナー

*設置病院で使用されている物品を使用して静脈血採血を経験しよう(知識・技術)

*大津赤十字病院で運用されている看護提供方式:固定チームナーシング・デイパートナー方式を踏まえて、パートナー(教員)と看護実践(日常生活援助)の経験をしよう

パートナーとの挨拶・打ち合わせ → 受け持ち患者の看護ケアアセスメント → 看護実践 → リフレクション

学生の声

「コロナ禍で実習での制限が多く、漠然とした不安の解消となった」

「新人看護師としてのイメージ(パートナーとの看護実践)ができた」

「標準予防策はバッチリ、自信がついた」



設置病院で4月実施される集合研修で卒業生の標準予防策の技術習得度が高いとフィードバックを受けました

今後も当校の強みとして設置病院との連携を強化し①看護学生の個別的・段階的支援 ②実習指導者の育成 ③心理的安全性のある実習指導環境の調整 を目指して取り組んでいきます